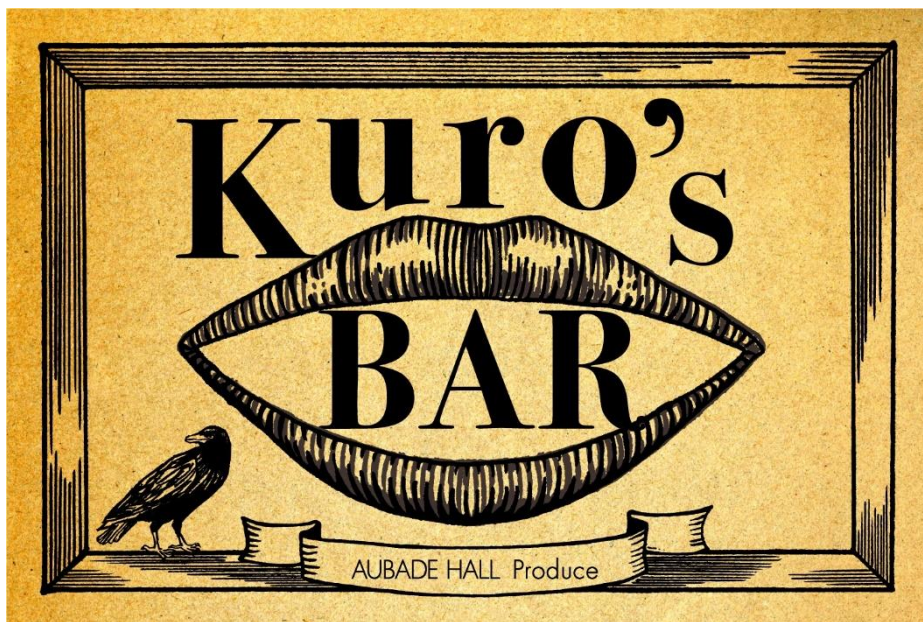




—思いがけないアーティストとの出会い—

Kuro's Bar

ラジオ×会いに行ける BAR



ターゲットは幅広い市民。

既存ファン以外にも届けたい、「ラジオ」と「リアル」2方向からの出会い。

オーバード・ホールでは、多様な市民にリーチする新たな取り組みとして、「ラジオ」と「リアル」の2方向からアプローチする企画「Kuro's Bar」を実施します。

本企画の中心となるのは、富山市出身の劇作家・演出家のタニノクロウ。ラジオ番組「Kuro's Bar」のパーソナリティとリアルに会いに行ける「Kuro's Bar」のマスターを務めます。

ラジオでは毎回ゲストを迎え、規定概念に捉われないアーティストのユニークな思考や経験談をお届けします。一方、オーバード・ホール中ホールでリアルに開店する「Kuro's Bar」では、タニノ自身がマスターとしてお客様を出迎えて、来場者(市民)と語ります。

ラジオ番組を聞いて興味をもった方が劇場にやってくる。「市民が演劇に参加できる機会を提供する」という従来の市民参加の発想を超えて、様々な人が出会いつながり、思いもよらない活動などの社会的創発が生み出されるきっかけをつくります。また、リアル Bar をオーバード・ホール／中ホールで開催することにより、劇場が市民にとって「安心して価値観を共有できる共生の場」として機能することを目指します。

Kuro's Bar 企画制作・主催

AUBADE HALL(公財)富山市民文化事業団 <https://www.aubade.or.jp/>

お問合せ:総務企画課 TEL.076-445-5610

ラジオ番組「Kuro's Bar」

富山駅前の賑やかな飲食店街を抜けると、
閑静な住宅街にひっそりと佇む、大人の隠れ家がある。
劇作家のわたくしタニノクロウがオープンした「Kuro's Bar」。
今宵も素敵なおお客様がご来店されます。
あなたも一緒に一杯いかがですか？
タニノクロウ

【番組コンセプト】

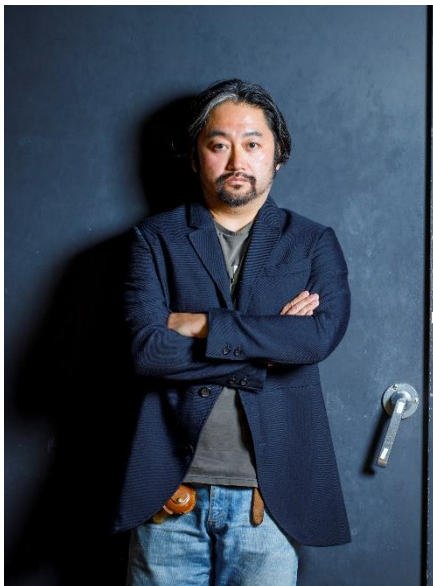
富山のとある BAR「Kuro's Bar」のマスターを務めるのは劇作家・演出家のタニノクロウ。マスターと劇作家・演出家の 2 足のわらじを履いて活動しているタニノのもとに、親交のある俳優・クリエイターたちが富山まで会いに来るという設定です。マスター役タニノとお客様役のゲストの日常会話に聞き耳を立てるテイストで、二者の人柄や、作品の制作秘話など表現活動の舞台裏をお届けします。

【放送媒体】FM とやま(82.7MHz)

【放送日時】2025年2月～3月木曜日 21:30～22:00 (全6回予定)

【アーカイブ】番組内容は各回放送翌日に、オーバード・ホール YouTube チャンネルで公開します。

【パーソナリティ】



タニノクロウ(劇作家・演出家)

1976 年生まれ。富山市出身。元精神科医という異色のキャリアを持つ。セゾン文化財団シニアフェロー(2015 年まで)。2000 年医学部在学中に庭劇団ペニノを旗揚げ。2016 年「地獄谷温泉 無明ノ宿」にて第 60 回岸田國士戯曲賞受賞。第 71 回文化庁芸術祭優秀賞受賞ほか多数受賞。2022 年 7 月より富山市政策参与に就任。

演劇を通して現代社会が抱える問題を提起する存在として国内外の演劇界から注目される。ヨーロッパにおいては著名な演劇祭に度々招聘され、2021 年にはフランス・ジュヌビル工劇場のアソシエイトアーティストに就任。出身地である富山市においては、2019 年から単身で滞在し、キャスト・スタッフともに「オール富山」で演劇をつくりあげるプロジェクトを実施。

【ゲスト】

放送日:2月6日(木) 緒方晋(俳優)

放送日:2月13日(木) 金子清文(俳優)

放送日:2月20日(木) サエボーグ(アーティスト)

放送日:2月27日(木) 片桐はいり(俳優)

放送日:3月6日(木) 安藤玉恵(俳優)

放送日:3月13日(木) 長塚圭史(劇作家・演出家・俳優)

【ゲストプロフィール】

俳優 緒方 晋(おがた・すすむ)



1972年1月30日生まれ。大阪府出身。

1998年に大阪で The Stone Age の旗揚げメンバーとして参加。現在は休団中。
2016年からは活動拠点を東京に移し 2022年からは長野県に移住し劇場を併設したゲストハウスを作る為に東京、長野の2拠点生活をしながら活動中。

近年の主な舞台出演作品に、庭劇団ペニノ『ダークマスター』『笑顔の砦』『虹む街』、劇団チョコレートケーキ『帰還不能点』『ブラウン管より愛をこめて-宇宙人と異邦人』『白き山』『つきかげ』、iaku『The last night recipe』『モモンパのくくり罠』等がある。

2017年に発表した iaku の『ハイツブリが飛ぶのを』では第20 西現代演劇俳優賞を受賞。2024年に発表した劇団チョコレートケーキの『白き山』『つきかげ』では第59 回紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞。

俳優 金子 清文(かねこ・きよぶみ)



1965年生まれ。東京都出身。

麻布高校卒業後、俳優活動開始。

発見の会、大人計画、毛皮族、プス会など舞台上で活躍する傍ら、雑誌編集、水商売などに勤しんだ頃も。

映像作品でも活躍、『深夜食堂』シリーズ(09~16/レギュラー)、『花束みたいな恋をした』(21)、『TOCKA[タスカー]』(23/主演)、『温泉シャーク』(24/主演)、『愛の茶番』(24)ほかに出演。タニノクロウ作品には『ダークマスターVR』(20)、『虹む街』(21)、日台国際共同制作『誠実浴場』(24)に出演。

アーティスト Saeborg | サエボーグ



1981年生まれ。富山県出身、東京拠点。

サエボーグは不完全なサイボーグ。ハーフヒューマン、ハーフトイ。自らの皮膚の延長としてラテックス製のボディスーツを自作し、装着するパフォーマンスを展開するアーティスト。性別などの固定化されたアイデンティティや、人間の身体そのものを超越したいという強い願望を原動力に、家畜などを玩具的にデフォルメしたボディスーツに身を包み、生態系の最底辺の生き物たちが織り成す遊戯的なユートピア実験牧場を作り出す。

近年の主な発表として、「DARK MOFO 2019」(Avalon Theatre、オーストラリア/2019)、「あいちトリエンナーレ 2019 情の時代」(愛知県芸術劇場/2019)、「Cycle of L」(高知県立美術館/2020)、「世界演劇祭 2023」(Zoogesellschaftshaus、ドイツ/2023)、「Tangente St.Pölten」(Jahnturnhalle、オーストリア/2024)、「Engawa A Season of Contemporary Art from Japan」(グルベンキアン近現代美術館、ポルトガル/2024)等の公演、「第6回アテネビエンナーレ:ANTI」(Banakeios Library、ギリシャ/2018)、「Ultra Unreal」(シドニー現代美術館、オーストラリア/2022)、「Enchanted Animals」(黒部市立美術館/2024)、「Tokyo Contemporary Art Award 2022-2024 受賞記念展」(東京都現代美術館/2024)等の展覧会の他、多数の発表を国内外で展開。第17回 岡本太郎現代芸術賞 岡本敏子賞受賞(2014)等。

俳優 片桐 はいり(かたぎり・はいり)

1963年1月18日生まれ。東京都出身。

大学在学中に銀座文化劇場(現シネスイッチ銀座)でもぎりのアルバイトと同時に俳優活動を開始。1982年「電気果実物語」で初舞台。1985年「ふぞろいの林檎たちⅡ」でテレビドラマに、1986年「コミック雑誌なんかいらない!」(滝田洋二郎監督)で映画デビュー。

著書に「わたしのマトカ」「グアテマラの弟」、映画への愛情に満ち溢れたエッセイ「もぎりよ今夜も有難う」は、第82回キネマ旬報ベスト・テン 読者賞を受賞。

現在も俳優業の傍ら「映画への恩返し」として地元の映画館キネカ大森で時々もぎりをしたり、キネカ大森先付ショートムービー「もぎりさん」シリーズを制作している。

タノクロウ作品には日台国際共同制作『誠実浴場』(24)に出演。

俳優 安藤 玉恵(あんどう・たまえ)

©T.MINAMOTO

東京都出身。

大学在学中に演劇を始める。舞台「花と龍」「スプーンフェイス・スタインバーグ」「桜の園」「阿修羅のごとく」「虹む街」「イエルマ」「グリークス」「命、ギガ長ス」など、数々の舞台に出演。

近年の映像出演に、映画「ショウタイムセブン」「アイミタガイ」、「ラストマイル」、「PERFECT DAYS」、TV「ゴールドサンセット」(WOWOW)、「無能の鷹」(テレビ東京)、「未病息災を願います〜かしまし3姉弟より〜」(Eテレ)、連続テレビ小説「らんまん」(NHK)、CM「東京ガス」などがある。5月にエッセイ本「とんかつ屋のたまちゃん」発売予定。

劇作家・演出家・俳優 長塚 圭史(ながつか・けいし)

©宮川舞子

1975年生まれ。東京都出身。

1996年、演劇プロデュースユニット阿佐ヶ谷スパイダースを旗揚げし、作・演出を担う。

2008年、文化庁新進芸術家海外研修制度にて一年間ロンドンに留学。2011年、ソロプロジェクト「葛河思潮社」を、2017年には新ユニット「新ロイヤル大衆舎」を始動。2021年4月にKAAT 神奈川芸術劇場芸術監督に就任し、『王将』-三部作-、『近松心中物語』、KAAT カナガワ・ツアー・プロジェクト第一弾・第二弾、ミュージカル『夜の女たち』、『アメリカの時計』、『花と龍』などを手がける。その他近年の作品に、阿佐ヶ谷スパイダース『ジャイアンツ』、『GOOD-善き人-』など。俳優として、舞台『蜘蛛巣城』などに出演。第55回芸術選奨文部科学大臣新人賞、第14回読売演劇大賞優秀演出家賞受賞。

期間限定開店 リアル「Kuro's Bar」

番組を聴いてタニノに興味を持った市民は、リアルな「Kuro's Bar」に訪れてみてください。普段は接点を持つことのないアーティストと直接話すことができます。「Kuro's Bar」の場所は、なんとオーバード・ホール／中ホール！アーティストとの出会い、多様な人との出会いを創出します。

【開催日時】2025年3月19日(水)～21日(金)各日 18:00～22:00

【開催場所】オーバード・ホール中ホール 2階ドリンクカウンター

【料金形態】来場者が各自飲食分を都度会計する形態を予定しております。



※写真はイメージです。(2019年「Kuro's Bar」より)

リアル「Kuro's Bar」特別出店決定！

オーバード・ホールが年に一度開催している感謝祭「楽市楽座」に、「Kuro's Bar」が出店することが決まりました。入場無料で繰り広げられる音楽、ダンス、舞踏、パフォーマンスを楽しみながら、一杯いかがですか。

【開催日時】2025年3月22日(土)18:00～21:00

【開催場所】オーバード・ホール大ホール 2階ホワイエ

【料金形態】来場者が各自飲食分を都度会計する形態を予定しております。

【楽市楽座詳細】

https://www.aubade.or.jp/new_event/other_hall/rakuichi5/